

食の文化シンポジウム2021

人間の食を考える

—『食の文明論』からの展望—

主催：公益財団法人味の素の文化センター

開催日時：2021年12月18日(土)

13:30 開会 (13:00 開場)

～16:30 終了予定

会場：浜松町コンベンションホール
& Hybrid スタジオ 5F「大ホール」

参加申込方法：要事前申し込み

《来場参加》定員50名(先着順)

《WEB参加》人数制限なし

以下リンク、QRコードの受付フォームよりお申込みください。

https://sites.net-convention.com/for/asbsympo_reg/reg.html



参加登録
QRコード

「食べること」は、人間を含めた動物に共通する営みです。しかしながら現在のコロナ禍においては、飲食店での営業自粛ほか食に関する様々な制限がみられます。

私たち人間にとって食とは何でしょうか。食は人に何をもたらしてきたのでしょうか。ここでは、現生人類が誕生した30万年前から現在までという膨大な時間、大国のみならず地球全体をくまなく対象にする広大な空間のなかで人間の食の在り方を考えてみましょう。食材、調理、台所、共食などの食文化を通して時空をまたく食の世界を語りましょう。

そこには、時代の転換期といわれる現在や新たな時代における人間の生き方を考えるヒントがあることでしょう。

プログラム

- | | * 予定時間 |
|--------------------------------|----------------|
| ■趣旨説明 | (10分) |
| 池谷 和信 (国立民族学博物館 教授) | |
| ■講演 1 | (30分) |
| 食を求めて40年のフィールドワーク
—写真からの視点— | |
| 森枝 卓士 (ジャーナリスト) | |
| ■講演 2 | (30分) |
| 技術革新からみた食—分子調理からの視点— | |
| 石川 伸一 (宮城大学 食産業学群 教授) | |
| ■講演 3 | (20分) |
| ホモ・サピエンス史からみた食—地図からの視点— | |
| 池谷 和信 (国立民族学博物館 教授) | |
| (休憩 10分) | |
| トークセッション | (60分) |
| 司会・コーディネーター | 池谷 和信 |
| 登壇者 | 森枝 卓士
石川 伸一 |

